

「長く地域で愛されてきたものを継承するお手伝いをしたくて」と話すのは、明治から大正にかけて美術地域で作られていた「天神

ひと

往来



山の歴史や史跡、伝統行事などをテーマにした「美作の

人形」の復活に取り組む津山商業高（津山市山北）商業クラブ部長の福島雅巳君（17）は地域ビジネス科3

年。教諭の誘いもあって、バ

国つやま検定」も手掛けた「美作の少数精鋭部隊」だ。

昨年度は津山観光センターで、部員が色付けした天

成果挙げ後輩に託す

ところ好評で完売。「人形を手にとって懐かしんでくれる人ばかりで」。本年度は本格販売に向け、販路開拓に取り組む計画だ。

クラブの部員は全員が3年生。「商業クラブは商業を学ぶ津商ならではの部活。脈々と受け継がれた取り組みを絶やさないよう、成果を挙げて後輩に託したい」。バトンを渡す人材の発掘も部長の大きな仕事だ。（竹久祐樹）